授業づくり研修講座　実践レポート

　　　　　　　　　　　　　　　　　　相模中学校　氏名　大西さくら

単元名　第２学年「１次方程式の利用」

実践のポイント（工夫）

・１学期当初から、単元のまとめとして４人グループで学びあい活動を続けていた。さらにそれを、「論理的な文章を書く」という視点から考え、説明のプロセスを考える時間を大切に考えることができるような時間配分を意識した。

実践内容

|  |
| --- |
| 1. 各自、単元のまとめプリントに取り組む。
2. 解けない問題や不安なところは机間巡視をしているので質問するように呼びかける。
3. 以下の手順にそって、問題を解くように指示する。
	1. 文章の内容を理解するために、表や図にまとめる。
	2. 求めたいものが何であるかを確認し、基本的にはそれを文字χでおく。
	3. 立式のために、まずは言葉を使った式をつくる。
	4. 文字χを使い、方程式を作る。
	5. その方程式を解くために、必要な等式の性質がどれかを確認する
	6. 方程式の解と問題の答えが合っているか確認する。
4. 班員どうし、お互いに説明をするための筋道を考えさせる。どのように相手に伝えればわかりやすいかを以下の点もふまえてよく考えさせる。

　　　・問題を解いた手順にそって、注意する点や意識した点を書き出させる。　　　　例　　　　　単位に注意する・公式の確認・方程式を解く手順など　　　・教科書やワークの類題などを探して、伝えられるようにする。５、お互いに説明し合い、理解してもらえたら記入欄にサインをもらう。 |

振り返り

　説明する際の注意点などを記入しておいたり、使用する公式の確認などを事前にしておくことによって、説明が苦手な生徒も手順にそって説明することができていた。説明前にしっかりと時間をとったのはお互いの学び合いにとてもいかされると実感できた。